

産地パワーアップ事業の取組事例

(北海道)

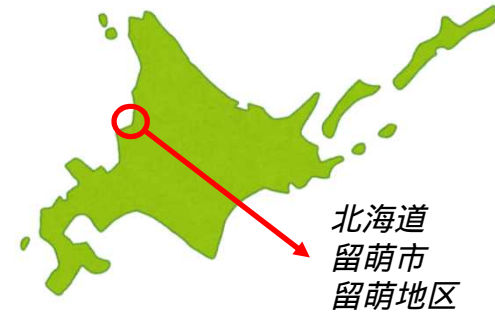
取組の概要

取組の概要 : 地域における大豆の受託体制整備
計画作成主体 : 留萌市農業再生協議会
対象品目 : 大豆 (産地面積: 20ha)
主な取組主体 : 留萌機械利用組合
成果目標 : 販売額の10%以上の増加
助成金の活用 : 生産支援事業 (ホッパー、大豆粒選別機、マメスケール、色彩選別機、調流タンク、大豆クリーナー)

ポイント

大豆粒選別機等を導入し、大豆出荷に伴う一連の作業を地域で担うことで、出荷コストの削減を図るとともに、作付面積の拡大や収量や品質の向上を図り、販売額の25%増加を実現。

地区の概要



産地の現状と目標

現状: H27年度

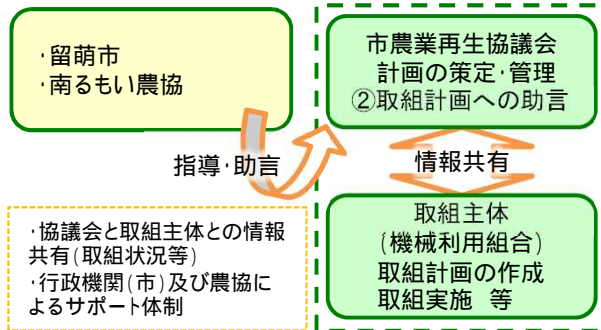
作付面積: 15ha (収穫量: 24t)
単収: 163kg/10a
販売額: 2,019千円

目標: H30年度

作付面積: 20ha (収穫量: 34t)
単収: 170kg/10a
販売額: 2,519千円



推進体制



地域における独自の取組

主な取組

畑作物における機械・設備の共同利用と作業オペレーターの養成、育成も視野に入れた、地域の営農支援としての役割も担う組織として設立。

道・市町村単独事業

道、市の補助事業として、乾燥施設を整備。

事業効果

「主要7品目中5位」

地域で、耕起から出荷まで一連の作業を地域で担う体制を構築することで、これまで市外に依頼していた、運搬、調製、出荷のコスト低減が図られる。

このことにより、水稻や連作に伴う低収量のそばの作付から、大豆への転換が図られ、作付面積が拡大するとともに、収量や品質向上を図り、販売額が増加し、産地の収益力向上につながる。

~大豆の販売額 (総販売額) ~

